

特定非営利活動法人再全トウネサーレ

当法人は、障害者総合支援法及び生活困窮者自立支援法に基づく、生活支援事業の実施を目的として設置した団体である。加えて、依存症等による社会生活に支障をきたしている人々への再社会化プログラムの開発及び地域社会への啓蒙活動を行う事も事業内容としている。

当法人の主たる事業は、精神障害者の**共同生活援助事業**及び**地域生活移行個別支援事業**（触法者の地域定着）を行っている。また、薬物依存症対策の研究・啓蒙活動を実施、平成29年度には「**薬物離脱ワークブック**」（金剛出版）を作成し、各地の精神保健福祉センター及び更生保護施設等へ配布した。

人材の「耐用年数」

人材資産＝「人材育成のための投資額」×「育成時間」

減価償却の算定

個人能力の低下(その期間決定の手法)

個人の情報ツールは5年持たない(投資効果の低減)

社会変化は予測できない(コロナ過が良い例)

現代人が求めるもの

物質から「こころ」

コミュニケーションの多様化

コミュニティの浮動化

人の耐用年数を5年未満と借定すると = **年20%のスキルアップが必要
新たな知識・技能の取得**

大方の人は堪えられない = 離職、家族崩壊(各種のハラスメント・DV)
心身の不調(うつ症状・怠業等)
依存症への傾斜(薬物・ギャンブル等)
大人の引き籠り

1 依存症的窃盗行為等の者への再社会化・回復プログラムの開発

- ①両全会で試行している「リ・コネクト」プログラムの再構築
- ②他機関(医療施設等)で実施しているプログラムととの比較検討作業

2 再社会化・回復プログラムの本格実施

- ①依存症者を抱える団体等への支援強化
- ②地域社会福祉協議会等との連携強化
- ③インストラクター養成

3 被保護者の引受け団体・施設やNPO施設でのプログラム実施

- ①協力的社会福祉施設への当法人から支援活動を実施
- ②協力雇用主の事業所等への支援活動を実施

4 継続的支援

- ①電話相談支援の実施
- ②自助的グループの形成と支援

} 精神保健センター等行政への引継ぎ

☆ 窃盗症者回復プログラム（リ・コネクト）の概要

現在、当法人及び更生保護法人両全会では、女性窃盗症者向けプログラム『リ・コネクト』を試行実施している。

そのコンセプトは

- ① Andrews & Bontaの「再犯危険性・ニーズ・応答性モデル」を基本
- ② 対象者の特性を理解し長所を引き出す能力の開発（グッドライフ・モデル）の採用
- ③ 認知・行動・対人トピックスプログラム（Najavitsの「安全を求めて」の日本人向け修正）
- ④ Crick & Dodgeの社会情報処理理論に基づく、犯罪傾斜プロセスの理解
- ⑤ Dietenのモジュールによる対人態度の健全化

Symptoms of Kleptomania

DSM-5 (The American Psychiatric Association、2013) では、**窃盗に至るまでの緊張の高まりとその後の満足感や安心感の強まりが、クレプトマニアの特徴としている。**

クレプトマニアの原因➤ うつ病（セロトニンとドーパミン）に関連するシステムと行動中毒（オピオイドシステム経由）を含む、主要な神経伝達物質経路には関係があるとされる。

クレプトマニアの有病率➤ クレプトマニアはまれな疾患であり、人口の0.3~0.6%程度の有病率とされ、診断される男女比は、男性1人に対し、女性3人程度と認識されている。

多くの場合、不安障害、摂食障害、双極性障害および他の抑うつ障害、人格障害、薬物乱用、強迫的な購買障害などと重複した障害の場合が多く、破壊的、衝動制御の不能及び行為障害を表出する。

Treatment of Kleptomania

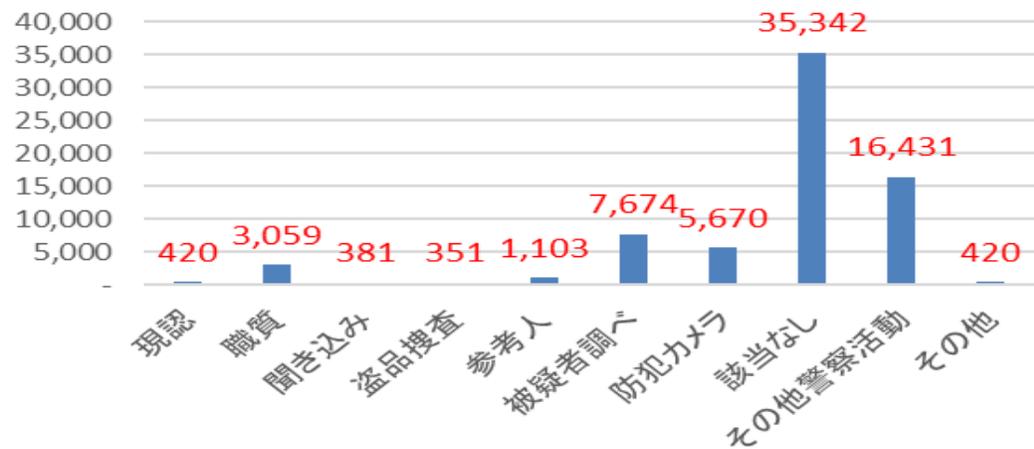
クレプトマニアの治療 ➤ **認知行動療法**の組み合わせに最もよく反応し、クレプトマニアに関連する衝動の認識と対処、および**精神薬品の使用**に重点を置いています。リチウム、抗てんかん薬、およびオピオイド拮抗薬は、盗癖を持つ人々が直面する盗みの衝動を制御するのに有効であることが証明されている。

刑罰は窃盗症の再犯防止に有効ではない！！

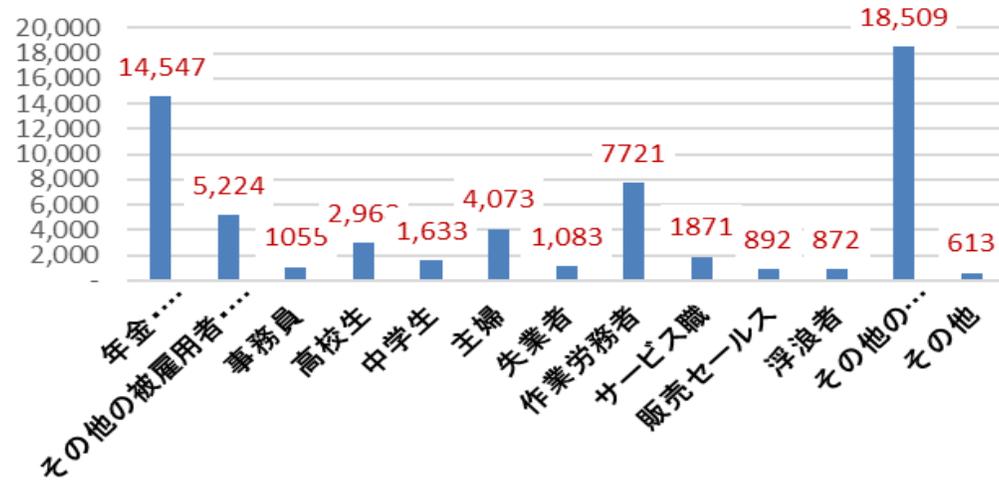
窃盗症者は、窃盗直前のスリルや緊張感、窃盗後の達成感や解放感等が勝っており、**盗むこと自体が目的**にもなっている。

窃盗を他者から咎められたり、逮捕されることがあっても窃盗行為を繰り返してしまう。

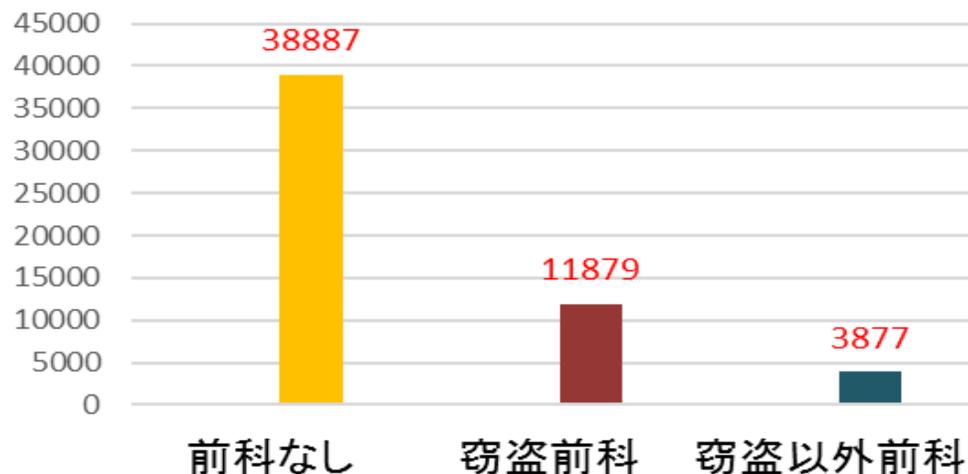
万引被疑者特定態様



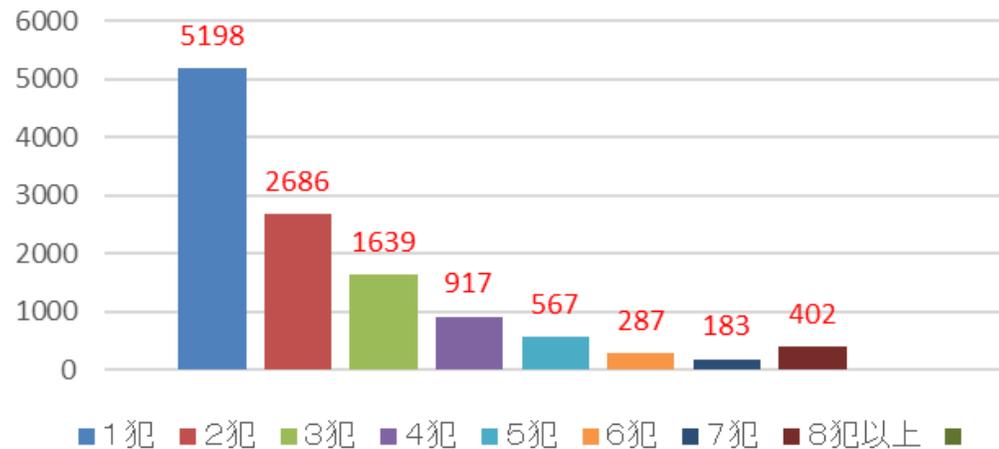
万引犯の職業



万引犯の前科状況

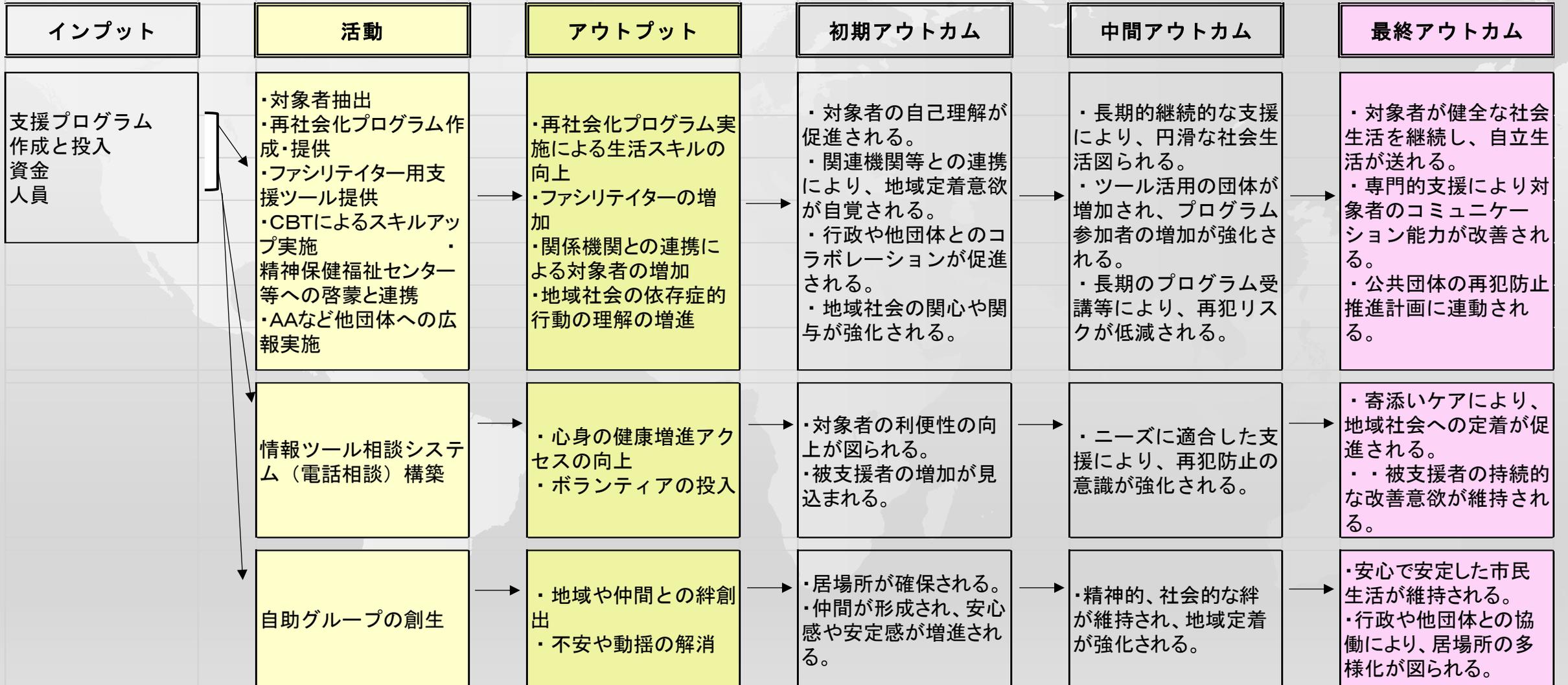


万引犯窃盗回数



ロジックモデル

依存的窃盗症者への再社会化支援事業



「リ・コネクト」 プログラムの概要 (CTB)

01 窃盗の解説

- 02 Session 1 プログラムの主旨を理解する
- 03 Session 2 プログラムへの動機づけを高める
- 04 Session 3 平常心を取り戻す方法
- 05 Session 4 これまでとこれからを考える
- 06 Session 5 考えのゆがみに取り組む
- 07 Session 6 衝動性や取りつかれに対処する
- 08 Session 7 問題解決法を体得する

09 Session 8

10 Session 9

11 Session 10

12 Session 11

13 Session 12

14 Session 13

15 Session 14

16 終わりに

- お金や時間の使い方
- ネガティブな思考への対処策
- ネガティブな気持ちへの対処策
- コミュニケーションの仕方を考える
- 見捨てられ不安を考える
- 対人関係を考える
- 再犯、再不適応を察知する